

2026 年 7 月 31 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 九 州 経 済 研 究 所

最近の県内景況は、畜産関連が持ち直し、生産活動は持ち直しの動きがみられ、消費関連は底堅く推移している。一方で、雇用関連は横ばい、観光関連は足踏み、投資関連は一部で低調となっている。全体として改善傾向はみられるが、今後の円安や海外情勢の動向などに留意する必要がある。

生産活動は、4 月の鉱工業生産指数が 5 か月連続で前年を上回った。食料品は前年を下回ったものの、電子部品・デバイスほぼ前年並みとなり、窯業・土石製品、汎用・生産用機械が前年を上回った。

畜産関連では、6 月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢 A5、去勢 A4 とともに前年を上回った。一方、ブロイラーもも肉は前年並み、豚肉、ブロイラーむね肉、鶏卵相場は前年を下回った。

個人消費関連は、6 月の乗用車新車登録台数、5 月の百貨店・スーパー販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額は前年を上回り、コンビニエンスストア販売額は前年をやや上回った。一方で、6 月の軽自動車届出台数は前年を下回った。

観光関連では、6 月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2 か月ぶりに前年を下回った。種子島・屋久島地区は 5 か月連続で前年を上回り、奄美地区は 9 か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、全ての調査対象施設で前年を下回った。

投資関連では、公共工事請負金額、新設住宅着工戸数は前年を上回ったものの、民間建築工事費予定額は前年を下回った。

雇用情勢は、5 月の有効求人倍率は前月と同じ 1.02 倍となった。

【生産活動】... 持ち直しの動き

4月の電子部品・デバイスの鉱工業生産指数はほぼ前年並みだった。スマートフォンやデータセンター向けの半導体が順調に推移しているなど、受注は回復している。

5月の焼酎生産は、2か月ぶりに前年を下回った。県内、県外への出荷は前年を上回ったが、未納税移出は前年を下回り、出荷量は3か月ぶりに前年を下回った。

5月のかつお節生産は、8か月連続で前年を下回った。

6月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが12か月連続で前年を下回り、民間工事向けは4か月連続で前年を下回り、全体では29か月連続で前年を下回った。

6月の紙パルプ生産は、4か月連続で前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を上回った。

【畜産関連】... 持ち直し

6月の子牛の出荷頭数は前年を下回ったが、出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。6月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5、去勢A4ともに前年を上回った。5月の枝肉生産量は前年を下回った。

6月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は、16.0%減と4か月ぶりに前年を下回った。5月の枝肉生産量は前年を下回った。

6月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は前年並み、むね肉は9.9%減と2か月連続で前年を下回った。6月の処理羽数は前年を上回った。

6月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、9.4%減と5か月連続で前年を下回った。5月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 底堅い

5月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品、飲食料品ともに前年を上回り、全体では4か月ぶりに前年を上回った。

5月の専門量販店販売額は、家電大型専門店、ドラッグストアは前年を上回り、コンビニエンスストアは前年をやや上回った。

6月の乗用車新車登録台数は、3か月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は14.5%増、小型車が5.9%増となった。6月の軽自動車届出台数は2か月ぶりに前年を下回った。

【観光関連】... 足踏み

6月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、台風の影響などで2か月ぶりに前年を下回った。九州、関東などの国内客の入り込みが増加した一方、中国、韓国からの入り込みが減少した。

鹿児島地区は、九州からの入り込みが増加したが、中国、韓国からの入り込みが減少し、2か月ぶりに前年を下回った。

霧島地区は、九州からの入り込みが減少し、2か月ぶりに前年を下回った。

指宿地区は、九州からの入り込みが減少し、3か月ぶりに前年を下回った

種子島・屋久島地区は5か月連続で前年を上回り、奄美地区は9か月連続で前年を下回った。

6月の主要観光施設入場者数は、全ての調査対象施設で前年を下回った。

【投資関連】... 一部で低調

6月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

5月の民間建築工事着工は、棟数は前年を上回ったものの、床面積、工事費予定額は前年を下回った。

5月の新設住宅着工戸数は、6か月ぶりに前年を上回った。分譲は前年を大幅に下回ったものの、持家、貸家は前年を大幅に上回った。3か月移動平均は前年を大幅に下回り、17.4%減となった。

6月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、3か月ぶりに前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

5月の輸出額は、木材が前年を下回ったものの、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物が前年を大幅に上回り、全体では43.5%増と10か月連続で前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油が全減、穀物及び同調製品も前年を下回り、全体で75.3%減と6か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】... 横ばい

5月の有効求人倍率は前月と同じ1.02倍となった。県内求人数を業種別にみると、卸小売は前年を上回り、医療・福祉はほぼ前年並み、製造業、建設業は前年を下回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

4月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.8%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を上回った

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が6件で2か月ぶりに前年同月（5件）を上回った。また、負債総額は29億9百万円で前年同月（2億55百万円）を上回った。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所（TEL 099-225-7491）